あんてな

社会福祉法人
大阪重症心身障害児者を支える会
NO. 9　　2019 年 12 月 25 日発行

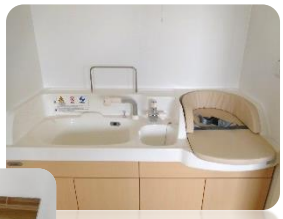
【法人理念】　私たちは、困難な状況下で精一杯生きる方々の有する権利と人格に対して、最大の敬意を払うとともに、私たちが行う支援が効果を上げるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が利用者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意をもって果たしていくことが私たちの事業に対する姿勢です。

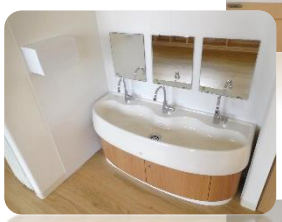
来年４月スタート予定
あゆむ保育園（仮称）

当法人の新規事業として、来年４月に「あゆむ保育園（仮称）」を開園します。０歳～２歳の園児を対象に定員 12 名の小規模型保育園です。少人数ならではの、ゆったりとした雰囲気の中で、子どもたちは伸び伸びと明るく元気に一日を過ごします。散歩や戸外遊びなどで元気な身体を作ります。保護者の方と共に子どもの成長を喜び、ほめながら子どもの身の回りの自立を目指します。

また、あゆむ保育園（仮称）では、登園時にできるだけ負担が少なくなるよう、「手ぶら登園」を目指しています。オムツ、昼寝用ふとん、パジャマ、体操服などは園で用意します。

通常保育時間は、朝７時半から夕方６時半まで、延長時間は、夕方６時半から 30 分間で７時までの予定です。





園内のトイレ、洗面台、テーブル・椅子などあらゆる道具がミニサイズでとても可愛いです。

園児の皆さんにとって、保育園に行きたくなる！　保育園が楽しくなる！

そんな保育園になりますよう、また、ご家族も安心して預けていただける保育園になりますよう努めて参ります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

１日の流れ

7：30	順次登園
9：00	おやつ
9：50	午前活動
11：00	昼食
12：00	午睡
15：00	おやつ
16：00	順次降園
19：00	閉園

- 新規事業：あゆむ保育園(仮称)　P,1
- 福祉事業所が地域に貢献できること
  ：みどり教室の取り組み　P,2~3
- 事業所通信
  ：生活ホーム クローバー　P,4~5
- 実践発表会感想、感謝　P,5
- 研修・イベント情報　P,6~7
- 楽器演奏会、お餅つき大会　P,7
- 職員紹介、編集後記 P,8

あゆむ保育園（仮称）

〒５４５－００１４
大阪市阿倍野区西田辺町
２丁目１０番８号
TEL　０６－６６９１－２８００
FAX　０６－６６９１－２８０１
MAIL　ayumu@sasaeru.or.jp

福祉事業所が地域に貢献できること
みどり教室の取り組み

みどり教室は昨年40周年をむかえました。福祉施設として障害のある人もない人も、ともに地域の中で暮らすことのできる街や社会をつくっていくことは、地域に根ざす施設としての大きな役割のひとつです。そのためには障害のある人がさまざまな地域の活動に参加しやすい環境を作っていくことが大切です。

しかし近年は少子高齢化や働き方の変化などから、なんとなく人と人との関係やつながりが希薄になってきているように思われます。一人暮らしの高齢者は、誰とも話さない・会わないこともあるといいます。一人で御飯を食べる子ども達も数多くいます。

人と人とのつながりや助け合いは簡単にできるものではありませんが、福祉施設として何か私たちにもできることはないか。そんな思いを一人のご利用者さんに打ち明けました。するとそのご利用者さんは私の言葉に「うんうん」と大きくうなづいて「ほんまやね。なんかできたらいいね」と言ってくださったのです。そこからみどり教室の地域への取り組みが始まりました。始まりのファンファーレが鳴り響いたかのようでした。

そんなみどり教室の地域での活動を、簡単ではありますがご紹介したいと思います。

【２０１９年度】

①みどり倶楽部（5月15日、6月12日、7月23日、9月10日、11月5日）

みどり倶楽部とはみどり教室で開催されているみんなの集いの場です。子どもから障害児・者、高齢のみなさんどなたでも参加できる気軽に立ち寄れる場所です。月に1回、みどり教室の作品や地域の方がおしえてくださる手芸品を作成し、その後はみんなでティータイムを楽しみます。これまで鍋敷きやフェルトバックを作成しました。

阿倍野区中部包括支援センターや阿倍野区社会福祉協議会の生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーター・見守り相談室・オレンジチームが主催・共催しています。

集いの場は仲間ができることで自宅以外の居場所ができ、閉じこもりを防いだり、仲間同士でお互いのことを気にかけあうようになることで、見守りの効果もあります。ご利用者さんや地域のみなさんひとりひとりが主体となって活動をつくりあげていくことで、自分の役割や楽しさや生きがいを見出し、社会参加の意欲が高められるよう取り組んでいます。

②ものづくり体験（7月20日）

阿倍野地域活動協議会青少年部会と共催し、『親子で楽しいものづくり』を行ないました。阿倍野連合地域の子ども達（102名参加）は阿倍野連合会館で、みどり教室の作品（キャンドル作り）に挑戦しました。自分でできた、自分だけのものをつくる喜びを感じてもらえるよう何度も何度も地域のみなさんと話し合いを重ねました。みどり教室からは2名のご利用者さんが参加してくださり、子ども達に丁寧にキャンドルの作り方を教えてくださいました。

③花の苗植え（7月12日）

昭和町駅前のスギ薬局を囲むように季節の花の苗を地域のみなさんと植えました。みどり教室は阿倍野区阿倍野連合第一町会です。第一町会のみなさんと手分けしながら、日々草やペチュニア等を大切に植えました。

④阿倍野図書館ちぎり絵展示（9月20日～11月20日）

みどり倶楽部で出会った地域の方、ペンネームともものあかねさんは阿倍野図書館で読み聞かせのボランティアをされています。そのご縁で咲笑のご利用者さんが作成したちぎり絵の紙芝居を図書館に展示していただきました。和紙のちぎり絵の素晴らしさに感銘していただき図書館に推薦してくださったのです。ちぎり絵はみどり教室の皆さんが染めあげた和紙を、小さくちぎりピンセットをつかいながら丁寧にはりつけていきます。その工程を何度もくりかえし『みにくいあひるの子』のちぎり絵紙芝居が完成しました。みどり教室の和紙染めの風景とともに9月20日から11月20日まで阿倍野図書館で展示され多くの方々の目に触れることができました。

まだまだ『ハロウィン』や『あすなろカフェ』『福祉教育』など盛りだくさんの取り組みを行なっています。これらも次回以降、機会があれば、またご紹介させていただきます。

みどり教室ではこれからも、福祉施設（社会福祉法人）の強みや特性をいかした地域での活動を通じて、障害者施設への理解・施設は地域の社会資源であることを周知し、地域の中で『顔の見える関係作り』をすすめてまいりたいと思います。

（みどり教室　K．T）

２０１９年度　クリスマス　イブ×４　コンサート　Vol,17

12月21日（土）、阿倍野区民センター大ホールで阿倍野区作業所連絡会主催のクリスマスコンサートが行われました。このコンサートは、阿倍野区作業所連絡会（あされん）の「障がいのある方と地域の方との交流を増やしたい」「阿倍野区内に様々な事業所があることを知ってもらう機会をつくりたい」という想いからはじまり、今年で17回目を迎えました。阿倍野区作業所連絡会（あされん）には阿倍野区内で活動する11箇所の障がい者日中活動系事業所が参加しています。みどり教室・咲笑もその一員として情報交換や交流を計りながら、より地域に根ざした活動を行っています。今回のコンサートでは手話歌やダンスを披露しました。曲目は『ハレルヤ』『はぴねす』です。３ヶ月前からの練習の成果が十分に発揮されました。最後にサンタクロースからのプレゼントもあり、会場中あふれる笑顔と熱気でクリスマスイブ×４のひと時を過ごしました。

事業所通信

生活ホーム　クローバー

日々の暮らしの中で

多くのヘルパーに支えられ、クローバーでの日々は続いています。

平日の朝、ばたばたと動き回るヘルパーたちと、それをニコニコと見守る皆様。

朝のあわただしさは、どこのご家庭でも同じかと思います。コーヒーの香りとトーストの焼ける匂い。

お着替えをして朝食を。食事が済めば歯磨きに洗面などなど。

朝の身支度もお一人お一人違っており、「朝の連続ドラマを見たいから早く。」とおっしゃる方や、優雅に2度寝をされる方、本をひろげる方、昨夜の野球の結果が気になってニュースをごらんになる方、自己流の将棋を楽しまれる方、早々に出発する方。出勤時間までの過ごし方も様々です。

5台ほどの送迎車が随時お迎えに来られるため、時間に遅れないように、お忘れ物が無いように、衣服が乱れていないように、暑くないように、寒くないように・・・・。

色々なことを確かめながら笑顔で皆様をお送りするのが、クローバーのスタッフの大切な仕事です。

そんな毎日を過ごし休日になるとやっとのんびりかと思いきや、皆様は元気いっぱいで、いつもと同じ時間にはきちんと起きてこられ、ヘルパーさんが来られるのを今か今かと待たれています。

「今日はだれがくる?」

「まだ8時ですよ。こんなに早くから出かけませんよ。」

毎週の朝のやり取りです。

今日はどこへ行こうか、ランチは何を食べようかと毎週のように休日のお出かけを楽しみにされている方も多く、時に外出のヘルパーが充分確保できないため、クローバーで昼食をとお伝えするときのがっかりとされた表情を見るととても申し訳なく思います。

充分な休息ももちろん必要ですが、何よりも楽しみな時間を過ごすことが皆様の日々の活力の源になっているようです。

日中の活動にしっかりと参加して頂き、日々をやりがいのあるものと感じて頂くためにクローバーでの生活は、ごくありふれた日常でありたいと心がけています。

寝て、起きて、食べて、毎日お風呂にゆっくり浸かって・・・

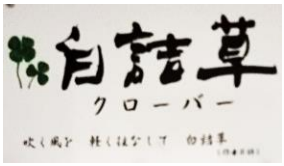
そんな時間を皆様に過ごして頂くために、私たちヘルパーがいかに振舞うかを日々考えていかなければならないと思っています。

クローバーも10年を迎え、いろいろなところに修繕や修理も必要となってきました。

修理だけでなく、より快適に、より暮らしを感じることができるように、リビングやお部屋のインテリアにも少しずつこだわっていきたい・・・

お客様を迎えてにぎやかな時間を過ごせたらとも。

これからもクローバーは皆様の暖かな「家」であり続けたいと想います。（クローバー　K.T）



2019年クローバー旅行

10/28~29 横浜　中華街で豚まん作り体験や本格中華料理を堪能され、みなとみらい等へも行かれました。

10/14~15 浜名湖
なぎパイファクトリの見学、ミカンり等、夕食はうなぎづくしでした。

10/10~11 ネスタリゾート神戸
夕食はバーベキュー、夜はイルミネーション等を楽しまれました。

令和元年9月8日　支える会実践発表会に参加して

この実践発表会を通して、利用者の方お一人お一人に秘められた個々の可能性を、支援者の自分が「思い込み」や「その場しのぎでの推測や想像」で封じ込めてしまっていないかなど、振り返り反省するよい機会でした。

また、毎日のきめ細やかな観察や試行錯誤の具体的な手法の積み重ねが大切であること、さらにそういった物理的視覚的な手法だけでなく、利用者さんとの日々の何気ない会話や交流から生まれる気持の共有や絆が、スタッフにとっても生きがいや幸せを感じさせてくださること、また悩みや反省ももたらしてくださること、そういった大切なことを利用者の皆さんが教えてくださっているということに改めて感動しました。

日々あわただしく過ごしている中、他の支援者の方の発表を聴かせていただくことは、一歩立ち止まって自分を見つめ直すよい機会で、勉強になりよかったです。ありがとうございました。

（事務局　N. H）

大阪パイロットクラブ様より
ご寄付をいただきました。
心より感謝申し上げます。

先日（2019年11月21日）、大阪パイロットクラブ様主催のチャリティーコンサートにご招待をいただき、貴重なご浄財より多額のご寄付を賜りました。また、素晴らしい歌とピアノの演奏を聴かせていただき誠に有難うございました。あわせて、生活ホームクローバーでは日頃よりボランティアに来ていただき、春には利用者に向けたイベントを開催していただきました。重ねてお礼申し上げます。

講演会・イベント等情報

医療的ケア児等支援者実践報告会

医療的ケア児等の支援を現に実施している医師・看護師・訪問看護師・相談支援専門員・福祉事業所が「退院から地域での生活」に関し、互いに知ってほしい事を報告し合い、その実践から培われた知識を習得します。さらに地域で連携して支えるにはどのような事ができるか、意見交換します。

■日時：**令和２年２月１５日（土）１０：００～１６：４０予定（開場９：３０）**

■場所：大阪私学会館　４階講堂　　〒534-0026　大阪市都島区網島町６－２０

■参加費：無料　　■定員：２２０名

■申込み・問合せ先：参加希望の方は、FAX またはメールで、下記宛に、タイトルを**「医療的ケア児等支援者実践報告会の申込み」**として、氏名・所属・職種・連絡先（電話・FAX・メールアドレス）を送ってください。定員に達した場合、事務局から連絡があります。

大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課　TEL　06 -6944 -6671

FAX　０６－６９４４－２２３７　　E-mail　chiikiseikatsu@sbox.pref.osaka.lg.jp

第 10 回大阪小児在宅医療を考える会

テーマ：どないすんねん！～医療的ケアが必要な児(者)のトランジションを考える～

小児在宅医療が推進されて 10 年余、子どもたちは思春期・青年期・成人期を迎えてきています。小児期医療から成人期医療への「移行期医療(トランジション)」について、適切な医療を受け、質の高い生活や生きる力を育むため、さらに議論を重ね、大阪方式を作っていけたらと考えます。

■**特別講演：「小児在宅医療における移行期医療」**

医療法人財団はるたか会　理事長

子ども在宅クリニック　あおぞら診療所せたがや院長　前田　浩利　先生

■その他、情報提供、パネルディスカッション有り

■日時：**２０２０年1月１９日（日）９：００～１３：００**

■会場：大阪市立総合医療センター　さくらホール

大阪市都島区都島本通２－１３－２２　TEL　０６－６９２９－１２２１（代）

■参加費：無料（事前登録不要）　■参加対象者：小児在宅医療に関わる多職種の方

（患者さんご家族のご参加は現時点では想定しておりませんので、今回はご容赦下さい）

■主催：大阪小児在宅医療連携協議会　　■担当：NMCS 基幹５病院（高槻病院、淀川キリスト教病院、愛染橋病院、大阪市立総合医療センター、大阪母子医療センター）

■お問合せ：大阪母子医療センター内　患者支援センター

TEL　０７２５－５５－３１１３　　E-mail　kodomo@wch.opho.jp

ハプティックセラピーセミナー大阪

■日時：**２月２９日(土)　9:30～12:30 初級コース、13:30～16:30 中級コース**

３月　１日(日)　9:30～12:30 上級コース、13:30～16:30 インストラクターコース試験

※中級コース及び上級コースは初級コースの受講を前提としています。

※インストラクターコースはすべてのコースを修了し、インストラクターを目指す方が対象です。

※講座終了後に修了証を発行（SQC 日本ハプティックセラピー協会発行）

■会場：グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）８０４会議室　大阪市北区中之島 5－3－51

■コース費用：２万５千円（SQC 会員は２万円）　■主催：SQC 日本ハプティックセラピー協会

■お問合せ：一般社団法人　SQC 日本ハプティックセラピー協会事務局

大阪市住吉区万代東 1－3－19　ゆらっとステーション内　TEL　06－6690－5360（支える会内）

FAX　０６－６６９６－９９５５　　MAIL　haptic@sasaeru.or.jp　詳細は次号でお知らせします。

令和元年11月29日
大阪Ⅱゾンタクラブ様による楽器演奏会

11月29日、ゆら[愉笑]では大阪Ⅱゾンタクラブ様による楽器演奏会が開催されました。

演奏会ではトトロの「おさんぽ」やクリスマスソング、「ゾンタ節」等数々の曲を演奏していただきました。クラブの方から鈴が配られると、利用者の方々も曲に合わせてリズムを取られたり、またハンドベルでクリスマスソングが演奏されると一緒に歌っておられる方もあり、終始笑顔の絶えないひと時で、皆さんとても楽しんでいらっしゃいました。最後にはアンコールの歓声が沸き、喜びの内に演奏会は終了しました。

大阪Ⅱゾンタクラブの皆様、ありがとうございました。

お餅つき大会

12月15日晴天の下、ゆらっとステーション玄関前で、お餅つき大会が開催されました。

利用者の方々も多数参加され、順番に杵をもたれて、「よいしょー！」の掛け声と共に臼の中のもち米を目がけて杵を振り、お餅つきを楽しんでおられました。エビやヨモギのお餅はそれぞれとてもいい香りでした。小餅や好きな形に丸め、それぞれ持ち帰っていただきました。

前を通りかかった方やご家族連れの方も一緒に楽しんでいただけたことは嬉しい次第です。

今年の締めくくりと新たな年を迎える準備に、皆で喜びを分かち合えたようで何よりでした。

帝金株式会社様、育徳保育園様はじめご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。有難うございました。

当法人のインスタグラム

今年８月から法人のインスタグラムが新たに始まっています。現在３００件以上のフォロワーがおられ、利用者の方々の日々の生活、活動や外出のご様子、法人のイベントなどが投稿されています。投稿の内容（動画、写真、メッセージ）は、当法人新ホームページ **https://sasaerukai.or.jp/index.html** や、右記のQRコードからご覧いただけます。

速報
第３回地域包括ケアEXPO大阪

一般社団法人
SQC日本ハプティックセラピー協会
が出展します。

会期：2020年2月26日(水)～28日(金)
10：00～18：00
28日(金)は17：00終了
会場：インテックス大阪
★詳細は次号でも掲載する予定です。

職員紹介コーナー⑫

森　美重子さん

居宅介護事業所

①当法人に入られた年月
２００５年６月

②好きなこと・趣味
音楽(聴くこと、演奏)、読書、登山

③仕事に対する思いや体験
利用者の皆様は、日々それぞれ様々な方法で気持ちを伝えようとしてくださいます。何を伝えようとしてくださっているのかこちらが分かることが出来ず、伝えようとする事をあきらめてしまわれ、申し訳ないなあと落ち込む事もありますが、日々関わって行く中で言いたい事が分かり、ご本人が満面の笑顔で答えて下さった瞬間は本当にこちらも嬉しく、幸せな気持ちでいっぱいになります。また、私は支援の中で色んなところに一緒に外出させて頂く機会が多くありますが、色んな音楽、イベント、体験などを通して新たな表情が生まれ好きな事が増えて、選択肢が広がって行かれるのをそばで感じさせて頂けるのも嬉しく素敵な瞬間です。これからも利用者の皆様の表現の幅や、選択肢がどんどん広がっていく支援を心がけていきたいと思います。

◆◆◆◆◆◆◆

次回は生活ホーム クローバーのスタッフにお願いする予定です。

年金等の相談会のご案内

社会保険労務士事務所アヴァロンの伊藤先生にご協力をいただき、年金等の相談会を毎月開催しております。当法人の運営する事業所を利用されておられる皆様も活用していただけますのでご案内いたします。一人ひとりのケースに応じたアドバイスを個別に分かり易くご説明いただけ、利用される方も増えています。助成金活用や労働環境整備、障害年金などのご講演もされておられ、年金に関すること以外でも受付けております。

日程を、第３土曜日に変更させていただきました。

どうぞお気軽にご相談ください。

●日時　**令和２年１月18日（土）**
令和２年２月15日（土）
いずれも**10**時**半**～**12**時

●場所　ゆらっとステーション１階面談室

●費用　無料

●主催大阪府重症心身障害児・者を支える会

●申込み(事務局)
ＴＥＬ　０６-６６２４-２５５５
(法人事務局)
ＴＥＬ　０６-６６９０-５３６０
ＦＡＸ　０６-６６９６-９９５５

編集後記

今年も「あんてな」に何かとご協力いただき、ありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて今年、時代が平成から令和に移り、新しい天皇皇后両陛下の即位により、これからの時代に対する期待がもたらされ、歓喜が湧き起こったかと思われます。一方、今年も大災害が多発し、その規模は年々大きくなっています。気候変動＝地球温暖化の影響ですが、その裏では生物種の絶滅危機が進んでいます。特に２００年以降急激に進んでおり、絶滅危惧種の数は２０００年に１５種だったのが、２０１７年には２８３５種（ＷＷＦ）となっています。そして地球環境の急激な変化についていけず、静かに消滅している生物は一日１００種とも言われています。大変なことです。

言葉なき沈黙の声にも目を向け耳を傾け、心を注ぎ、よく知り、実践する、「いのち輝く未来社会」を目指して★

発行元
社会福祉法人　大阪重症心身障害児者を支える会
〒５４５-００２１
大阪市阿倍野区阪南町２丁目23番11号
ＴＥＬ０６-６６９０-５３６０
ＦＡＸ０６-６６９６-９９５５